

大田区社会福祉法人協議会

おおた福祉ネット

まじ
す
ぶ

で
福^え祉^ん
を

ネ
ツ
ト
ワ
ー
ク

おおた福祉ネット

これまで、分野ごとに縦割りだった福祉。
そこに横のつながりを、と導入された法改正。
それをチャンスに変えたいという思い。

福祉の現場でいままで手を差し伸べられなかった人に、
もっと柔軟な支援を提供したいという思い。

多様な悩みをかかえる人たちの身近な相談役になり、
最適などころにつなげたいという思い。

これらの思いを法人/拠点間でつなぎ、
地域の自治会、そして、みなさんへと広げ、
共に福祉に向き合うために、

ネットワークで福祉の“縁(えん)をむすぶ”存在となる。
これが、おおた福祉ネットの
ミッションです。

2017

第3段階

全体化・
現場階層・
働く支援へ

分野を超えた働く支援
「おおた福祉カレッジ」で
働くを支える



2015
10月

第2段階

地域連携公益事業

おおたスマイルプロジェクトを発足し、
複数法人が強みを活かした
新しい連携と提案



2015
7月

第1段階

大田区社会福祉
法人協議会設立

大田区内の社会福祉法人が
連携して地域課題に
取り組む体制が生まれる



ネットワーク

未来

ゴール

大田区に
住む人たちが
生きやすい街

未来

第4段階

地域共生社会へ

エリア作り、
種別・業種を超えた地域連携、
社福+民生委員+行政・医療・
NPO・自治体・民生委員会

おおた福祉ネットは、
区内に施設・事業所をもつ
「社会福祉法人」の
ネットワーク体です。

【社会福祉法人とは？】

社会福祉事業を行うことを目的として社会福祉法にもとづいて設立されている法人です。公益性の高い、非営利法人であり、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ公正に行っています。高齢者、子ども、障害者、生活困窮者など、さまざまな生活課題や福祉ニーズをもつ方の生活を支えています。

えん

で福祉をむすぶ

おおた福祉ネット

このパンフレットの作成にあたり、私たち大田区社会福祉法人協議会（以下、「おおた福祉ネット」という。）が、どのような経緯で立ち上がり、何を行ってきたのか、あらためて振り返りながら、これまでの活動やこれからのことについて幹事法人で話し合いました。



大洋社



大田区社会福祉協議会

おおた福祉ネットの立ち上げの経緯・きっかけ

大洋社 児童分野の事業を行っている社会福祉法人大洋社は、これまで様々な子育て事業に取り組んできましたが、緊急対応が必要な対象者の増加と困難は深まる傾向にあり、これまでの緊急対応だけでなく、地域で地域共生社会を踏まえた予防支援が必要だと考えるようになりました。そこで、大田区社会福祉協議会へ相談し、連携協力できる法人の紹介をいただき、れいんぼう事業を開始することができました。そのことがきっかけで、区内の社会福祉法人の連絡会「大田区社会福祉法人協議会」を発足することになりました。

社会福祉法人への声掛け

大田社協 2015年7月、大田区内の社会福祉法人として、今後の連携を図るための第一歩として「区内社会福祉法人による地域公益事業を考えるつどい」を開催しました。

開催にあたっては、大田区内に法人本部を有する社会福祉法人の代表者の方々に、開催の趣旨や今後の連携の必要性など、直接お会いしてご説明させていただきました。当日は、21法人32名の方々に参加していただき、今後も連携して地域の課題に向き合うための場を継続していくことを確認しました。

お互いを知ることからスタート

池上長寿園 おおた福祉ネットが正式に立ち上がってからは、分野を超えて互いの活動を知るため、その時々テーマを設けて全体会を開き、併せて情報交換会を行いました。テーマは、社会福祉法改正の最新情報や地域における公益的取り組みの立ち上げ、社会福祉充実残額の算定と社会福祉充実計画の作成、中間的就労などの幅広く設定しました。また、初期の頃は、会場を加入法人の施設で開催するなどして見学会も行いました。

お互いの強みを活かせる

有隣協会 社会福祉法人も得意分野が異なります

トの立ち上がり

— 現在～これから —



池上長寿園



有隣協会



大田幸陽会

ので、近いようで遠い存在という印象でしたが、活動に参加することで、視野が広くなり、かゆい所に手が届き、互いの強みを活かせる。今のところ、その恩恵は現場である事業所が連携という形で受けています。そして、なによりも毎回学ばせて頂いているのが一番ですね。

「おおた福祉カレッジ」の手ごたえ

大田幸陽会 2017年度からは、おおた福祉ネットの全体事業にも取り組み始め、福祉業界でも大きな課題となっている福祉人材をテーマに「おおた福祉カレッジ」事業を立ち上げました。まずは、大田区社会福祉協議会主催の介護職員初任者研修に複数法人から講師を派遣したり、各法人の内部研修会を開放したり、相互交流による取り組みにより、福祉人材の育成・定着を図りました。さらに、12月に開催した「ふくしのしごと市（相談・面接会）」では、出展した法人で手分けして広報した結果150名を超える来場者が集まり、「オールおおた」で取り組むことの手ごたえを実感しました。

さらなる活動に向けて

大洋社 おおた福祉ネットが発足して全体会を行って行く中で、法人同士が顔の見える関係になったことが一番の成果だと感じています。このパンフレットを通してよりお互いの事業内容や、各法人の強みを知る機会になることを期待しています。お互いの公益事業に参加したり、参考にしたりできると良いと思っています。

有隣協会 社会福祉法人に勤務しているひとりひとりの力が必要になってきますので、「オールおおた」で進めてイノベティブな取り組み、ワクワクするような取り組みを「地域」で作って行きたいですね。

大田幸陽会 分野や領域は異なっても、互いの強みを生かして「地域共生社会づくり」に向けて連携していきましょう。

池上長寿園 より多くの大田区に暮らす皆さんのために、おおた福祉ネットが持つネットワーク力が福祉課題の解決を図れる1つの選択肢となれるよう努めていくことはもちろんですが、多世代に渡ってこの想いが届けられればHAPPY（幸せ）です。

福祉人材の確保・育成・定着をめざして

少子高齢化の進展とともに、福祉サービスに対するニーズも急増しています。介護分野をはじめ、保育分野、障害福祉分野などで福祉サービスを必要とする方々（利用者）が、安心して生活できるよう支えていくためには、福祉サービスを担う福祉人材（福祉従事者）を更に増やしていく必要があります。現に、福祉の人材不足は、私たち大田区社会福祉法人協議会に加入する法人の共通する深刻な課題となっています。一方で、利用者の方に、より良いサービスを継続して提供していくためには、福祉従事者の方にとって働

きやすい職場環境をつくり、定着を図っていく必要があります。このため、私たちおおた福祉ネットは、『福祉人材の確保・育成・定着』を目的に「おおた福祉カレッジ」事業に取り組むことにしました。この取り組みを進めるために、まずは、福祉人材の確保を目的とした「ふくしのしごと市（相談・面接会）」を立ち上げることにしました。この取り組みを進めるにあたり、課題となっている福祉の仕事のイメージ向上をどのように図れるかについて考えました。

トークセッション

なぜ介護の道へ？



会社選びの際に大切にしたいポイントは？



毎日毎日ちいさなやりとりを積み重ねて、ともに成長していることが実感できた時に、とてもやりがいを感じます！

福祉のしごとってなーに？

参加者からの質問にぶっちゃけトーク



ふくしのしごと市（相談・面接会）

2017年12月3日(日)
大田区産業プラザPiO小展示ホール
主催:大田区社会福祉法人協議会、東京都福祉人材センター
共催:ハローワーク大森
実績:参加者152人、当日面接70名、採用7名

高齢・障がい・子ども分野の17法人が出展し、面接会を実施しました。広く福祉の仕事を知っていただくために、実際に働く職員が仕事のやりがいなどを話す「福祉のしごとってなーに？」や、「子育てと仕事の両立」や「他業種からの転職」、「定年退職後の活躍」などいくつかのテーマごとに参加者と実際に働く職員が本音で話すトークセッションも行い、たいへん好評でした。



大田区といえば、にぎわいがあって人情にあふれた街ということから、会場の雰囲気を「お祭り」のイメージにしました。法人協議会のみならず、手作り提灯を作って飾りつけをし、「おもてなし」の心で、お客様を迎えられました。

おおたスマイル
プロジェクト

おおたスマイルプロジェクトの最初の取り組みとして体験型学習支援「れいんぼう」が始まりました。

複数法人による 強みを活かした新しい連携 おおたスマイルプロジェクト

3つの「れいんぼう」

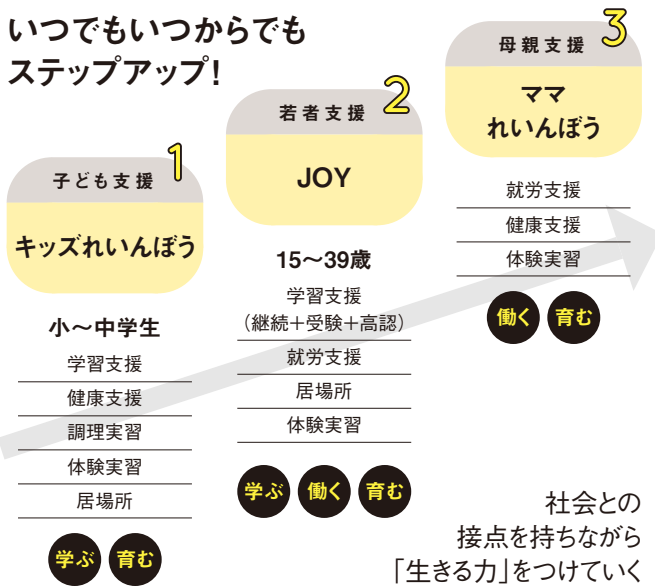
れいんぼうには、子ども・若者・ひとり親の人たちが、社会と接点を持ちながら生きる力を身につけてほしいを考え、子ども支援「キッズれいんぼう」、若者支援「JOY」、母親支援「ママれいんぼう」の

3つがあります。この事業を通して、いつでも社会とつながり、生きる力を身につけられることを知って欲しいと考えています。

「れいんぼう」のプログラムと法人連携

「れいんぼう」の一つ、子ども支援「キッズれいんぼう」は、大田区に住むひとり親の子どもに対して、社会との接点を持ちながら様々な体験をする子どもの居場所の確保を含む体験型学習支援事業を行っています。内容は「学ぶ」「食べる」「動く」「体験」する4つのプログラムで、区内二か所で実施しています。実施にあたり、区内の社会福祉法人「児童・大洋社」「社協・大田区社会福祉協議会」「高齢・池上長寿園」「障がい・大田幸陽会」の4法人で協力しながら事業を運営しています。キッズれいんぼうの取組みは、大田区社会福祉協議会のホームページにて活動内容のブログが掲載されています。その他に、若者支援や母親支援においても、近隣の社会福祉法人と連携して事業を行っています。

いつでもいつからでも ステップアップ!



「れいんぼう」の4つのプログラム

学ぶ
ネットとの付き合い方
英語と親しむ
学ぶ姿勢
●漢字・英語・PC (検定)

食べる
食事作りを楽しむ
一緒に食べるを楽しむ
食の思い出を作る
●調理実習
●食育

動く
体を動かしセルフメンテ
地域・異年齢交流
命・成長・大事を育てる
●健康支援
●プチ農業体験

体験
社会性を育む
色々な仕事を知る
将来の夢を持つ
●大学へ行く
●仕事見学/体験

